

- 1 発明とは何か、発明のうち特許にならないものとは何か、アイディアの創出方法について、図面の見方、道具・工具類の使い方について約 2 時間講習を受講したクラブ員を対象に下記の課程に入ります。
- 2 指導員は、アイディア創出相談・支援時に次のステップに従い、クラブ員とのコミュニケーションを図り、発明の具体化に取り組みます。

ステップ 1 クラブ員の個性・能力の把握

- 1 独創型（すでに完成品のイメージが不完全ながら頭の中に描かれている）
- 2 経験、体験、日常生活における不具合・不便をいくつか感じており問題解決をしたいと思っている
- 3 何でもよいから工作などして物づくりをしたい
- 4 興味本位でクラブに入ったので上記 1～3 のいずれにも当たらない。

指導員は、クラブ員との対話において個性・能力の把握結果を指導表に記録し他の指導員と情報の共有化を図れるようにします。

- 3 2の1の場合具体的な説明を聞き図面化し名称を付ける
2の2の場合改良したい課題を明確化して、その改善方法を導き出し、まとめれば図面化する。
2の3の場合何を作りたいのか問いかけます、その物がどのような用途なのか新しいものかを聞き名称を付ける。
2の4の場合指導員から発明の生みだし方を説明し、生活で不便を感じたものなどを聞き出します。いろいろ提案し題解決策を一緒に考えます。
- 4 3で図面化できたら必要な部品をわかる範囲でリスト化します。(6月11日から7月9日まで)
- 5 技術室に既にある材料とそうでない材料の仕分けをし、無い材料は指導員が次回までに購入します。
- 6 発明のポイントを鮮明化します。
- 7 発明品の製作にかかります。
- 8 製作の途中でも常に改良を心がけます。
- 9 完成品を動作させてみます。(使用してみます。)
- 10 常に何回でも使えるか、動作不安定なところはないか、点検します。

以上で完成です。この後、出品票に所定事項を書きます。